

さとうゆみ

きらめく未来づくり通信

2019年11月発行 NO.40

〒480-1157 長久手市桜作1708-1
TEL 0561-61-6991
携帯 090-5863-9971
E-mail:info@satoyumi.net

さとうゆみ議会報告会
2020年2月22日(土)14時~16時
長久手交流プラザ1階中会議室1

市民の想いで
まちは変えられる！



市長選挙・市議補選それぞれ3人が立候補

8月25日に市長選挙と市議会議員補欠選挙が行われました。市長の任期満了に伴う選挙で、議員が1人市長選挙へ立候補し欠員が出たため、同時に市議会議員補欠選挙も行われました。今年4月の市議会議員選挙は18人が無投票当選となりましたが、今回はそれぞれ3人が立候補しました。投票率は37%と低迷しました。

市長選挙の結果

吉田一平氏 1万693票 **当選**
佐野尚人氏 5千408.904票
河合直人氏 568.095票

投票総数1万6,876票
無効投票数205票
不受理票1票

市議会議員補欠選挙の結果

富田えいじ氏 9,681票 **当選**
浅野政之氏 2,992票
つづきとくのり氏 2,511票

投票総数1万6,869票
無効投票数1,686票
その他 -1票
(二重交付の可能性)

投票者の総数より投票用紙が1枚多い！

《さとうゆみ10月議会一般質問から》

Qさとう 市議会議員補欠選挙で、投票者の総数よりも投票箱に入っていた投票用紙の総数が1枚多くなった。あつてはならないことだが発生要因はどのようなか。

A総務部長 投票用紙自動交付機から2枚同時に排出された投票用紙をそのまま二重に交付した可能性が高い。

Qさとう 投票率が37%と低迷した。投票率を上げるための取り組みはどのようなか。

A総務部長 投票率は前回の4年前の33.23%から37.72%となり4.49ポイント増となった。長久手市選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会の皆さんが市内スーパーなどで啓発活動を行った。

～さとうゆみの考え～

今回の市議会議員補欠選挙では、ひとりの有権者に投票用紙を2枚渡したとされる事態が発生し、選挙の平等性の観点から問題があると考えます。再発防止策の徹底を求めました。

投票率は37%と、有権者の10人に6人以上が棄権をしています。日頃から市民に市政に関心を持ってもらい、また期日前投票所を市内の大型ショッピングセンターに設けるなど、より投票しやすい環境づくりが必要だと考えます。

この通信の発行に一部政務活動費を使用しています(政務活動費は年12万円)

古戦場公園再整備 令和5年度以降へ延期

資料館の建て替えを含む古戦場公園再整備事業が令和2年度から始まる予定でしたが、市は突如財政的な事情(令和5年度まで公園西駅の区画整理等でお金が必要)から、令和5年度以降へ延期すると発表しました。



古戦場公園の現在の資料館

《さとうゆみ10月議会一般質問から》

Qさとう 平成29年3月策定の「古戦場公園再整備基本計画」では、西側ゾーンに民俗資料館が明記されていたが、古民家を移築できなくなったため民俗資料館は未定となった。東側ゾーンのガイダンス施設は、現在の資料館を解体して令和2年度に建設予定だが、民俗資料館をどうするのか明確にしてから進むべきではないか。

Aくらし文化部長 令和2年度に予定していたガイダンス施設の建設は令和5年度以降に見直す。

Qさとう 再整備に向けてこれまでいくら使い、今後必要となる費用はいくらか。

Aくらし文化部長 平成26年度から平成30年度までに6,333万円、令和元年度に4,387万円を使い、今後は約10億円が必要になる。

～さとうゆみの考え～

市が出した再整備計画では、古民家を移築して民俗資料館とし、ガイダンス施設を新たに建設するとともに造園工事を行う予定でした。しかし、古民家の移築が困難となり、民俗資料館は未定となりました。民俗資料館がある前提で、ガイダンス施設は小さめの建物になっていたため、私は再検討が必要と考えていましたが、市は突如再整備事業を令和5年度以降に延期しました。

再整備に向けて1億円以上かけてきたので、何年も先送りする進め方は問題です。現在の資料館は建て替えのため5月末から閉館中です。市は平成26年度から市民ワークショップを開いていますが、開始から10年越しとなるのは無責任ではないでしょうか。

☆さとうゆみプロフィール☆

- 1978年名古屋市名東区生まれ
- 2000年南山大学卒業、損害保険会社に勤務
- 2011年市民活動を経て33才で長久手町議会議員に初当選
- 2015年2期目当選、2019年3期目当選(現在総務くらし建設委員長)
- 家族:夫、息子(高校2年生)、娘(小学5年生)

さとうゆみはどの政党にも属さず長久手に暮らす人の視点で活動します！

長久手市の財政状況は大丈夫か？

《さとうゆみ10月議会一般質問から》

Qさとう 市が公表した「中期財政計画」では、令和2年度から歳出が歳入を上回る財源不足となっているため「長久手市は赤字なのか」と市民が心配している。市の財政状況はどのようなか。

A総務部長 平成30年度は5億2,000万円の実質収支額(黒字)が出ており、各種財政指標はいずれも健全である。

Qさとう 長久手市は国から普通交付税を受けない不交付団体であり、財政状況は良好のはずである。市民に市の財政状況を明確に説明するべきではないか。

A総務部長 「中期財政計画」で示した財源不足は、財政健全化の取り組みを進めていくことで回避できる。市民に広報などを通じて伝える。

～さとうゆみの考え～

市が出した直近の「中期財政計画」は、令和2年度から令和5年度まで毎年約5億円から9億円の財源不足となっており、市民から不安の声が寄せられます。長久手市は、財政が安定しているとして国から普通交付税を受けない不交付団体を平成13年度から維持しており、この先も当面交付団体にはならない見込みです。

人口増加に伴い生活基盤整備を進めていることや約5年後から生産年齢人口が減少に転じて税収が伸びない見込みであることから余裕がある状況ではありませんが、何が真実か分からなくなっているため、市民に説明する必要があると考えます。

平成30年度決算から見えてきたこと

リニモの負担はまだ続く

平成28年度までは経営難のリニモに現金出資をしていましたが、それが終わり予算書や決算書上にリニモ支援金の項目は出てこなくなりました。しかし、平成30年度も公債費(借金返済)でリニモ関連に1億1,079万円を出しています。本来はリニモの会社が長久手市へ返済し、受け取った長久手市が銀行へ返すものでしたが、長久手市が肩代わりして銀行へ返済することになっています。平成30年度末であと13億2,581万円を返済しなければなりません。



ふるさと納税制度で市税が1億5,000万円減収

長久手市は平成30年度に、ふるさと納税制度で1億4,789万円の市税を失いました。市民が市外の市町村へふるさと納税し、寄付金控除を受けたことに伴う減収分です。平成30年度の市の一般会計決算の歳出総額は184億円であり、影響が大きいです。

国からの交付税で市税減収分の75%が補てんされる制度がありますが、長久手市は不交付団体のため、補てんはありません。一方、長久手市が平成30年度に寄付を受けたのは58件182万円です。この182万円から経費を引くと、ふるさと納税で長久手市が得た収入は82万円のみでした。

上郷保育園 年度当初の4月に開所できず

上郷保育園等移転新築工事請負契約の締結の議案を可決しました。落札業者は(株)前田工務店、契約金額は税込み10億78万円です。



令和元年6月の1回目の入札で不調となったため、上郷保育園は当初予定していた令和2年4月に開所できなくなり、8月開所予定となりました。第2期工事の児童館及び児童発達支援センターは、令和3年度中の開所予定です。

《さとうゆみ10月議会議案質疑から》

Qさとう 一度入札不調になったらたちまち間に合わないという進め方は市として避けなければならなかったが、なぜこのようになったのか。

A福祉部次長 平成30年4月下旬に設計者をプロポーザル方式で選定し、6月に契約し基本設計、実施設計を進めてきた。令和元年6月に入札し、6月議会の最終日に議決してもらう予定だったが、入札が不調となり間に合わなくなった。

Qさとう 入札不調となり人件費を捻出するため設計を見直したが、どの部分を見直し、いくら相当分か。

A福祉部次長 家具や建具のデザインを統一、材質の変更、外の倉庫を一部既製品へ、芝屋根の一部取りやめなどをして約2,000万円削減した。

～さとうゆみの考え～

新しい上郷保育園は、定員を130人から232人に拡大します。待機児童数が多い長久手市にとって、年度当初の4月に開所することは必要不可欠だったと考えます。新しい上郷保育園に転園することを条件に今の上郷保育園で1歳児8人、3歳児20人、長湫東保育園で1歳児4人を追加で受け入れるとのことですが、本来の定員拡大には及びません。市民ワークショップが長引いたようですが、市のギリギリの進め方には問題があったと考えます。

追記:台風19号で木材調達地の長野県に被害が生じたため10月開所に変更

パートタイム会計年度任用職員の創設

国の同一労働同一賃金、働き方改革を背景に、現在の「嘱託職員」「臨時職員」が「パートタイム会計年度任用職員」に移行します。長久手市の平成31年4月時点の「嘱託職員」は141人、「臨時職員」が499人で、合計640人が移行対象です。

これまで「嘱託職員」「臨時職員」はボーナスがありませんでしたが、「パートタイム会計年度任用職員」に移行すると週15.5時間以上勤務する方にはボーナスが支給されます。月額はやや減る形となりますが、ボーナスを加えると年収は上がります。しかし、移行対象640人のうち、約80人は週15.5時間以上勤務していないため、ボーナスが支給されず給料が下がる見込みです。規則で現状の給料を維持できるよう定められる可能性があるため、今後の市の対応を注視していきます。

さとうゆみブログ毎日更新中→



長久手市や長久手市議会の最新情報を日々発信しています！